

「令和3年度公衆衛生教育等の海外展開に関する調査研究」選定結果の発表

「令和3年度公衆衛生教育等の海外展開に関する調査研究」に申請のあった10件について審査を行った結果、以下5件を採択することといたしました。

申請機関	事業名	概要
特定非営利活動法人 Colorbath	ICT を活用した学校保健環境の向上に関する実証調査 【马拉ウイ】	马拉ウイにおける学校保健や ICT 分野の設備環境、教員の意識や取り組みの実態を分野ごとに整理する。その調査を踏まえ、保健委員や学校組織運営に関する日本型教育の知見を活用して学校保健環境の向上に向けた実証活動を行う。その際、ICT を活用し、日本と马拉ウイの学校同士の交流を通して互いに学び合い、with/post コロナにおける貢献モデル事例として日本の教育現場に還元することを目指す。
株式会社パデコ	オンライン特活による公衆衛生・SDGs 課題解決教育モデルの開発【エジプト・マレーシア・インドネシア・ウズベキスタン等】	複数国で健康・衛生等の SDGs 関連課題をテーマに話し合う日本型学級会を実施し、学校や家庭生活での手洗い等の生活習慣形成、行動変容を図る。オンラインでこれら学級会の様子を相互に観察し、日本型特別活動を現地文脈に合うようモデル化する。同時に Society 5.0 が求める時空間の制約を超えた、グローバルな特別活動の指導方法を確立する。
国立大学法人 信州大学	SDGs に資する日本型学校保健の課題と発展可能性の検証研究【ラオス・カンボジア・ネパール・バングラデシュ・ニジェール・ガーナ・ケニア】	開発途上諸国での日本の学校保健支援や ESD の普及状況に関する聞き取り調査を行い、日本型の学校保健の課題と発展可能性を検討する。さらに、日本、ラオスの教員養成校において、SDGs や COVID-19 対策に関する教材開発、教員研修、子ども保健クラブ等を活用した健康診断活動等を行い、その成果と課題を明らかにする。

国立大学法人 香川大学	香川大学衛生教育および学校保健室体制モデルの進展事業【カンボジア】	2020年2月にカンボジア政府に技術移転した香川大学モデル（保健室担当教員と保健室管理を含む学校保健室体制モデル、オリジナル設計のトイレ・手洗い場を含む衛生教育モデル、カンボジア保健省・教育省認可学校保健テキスト）の定着を促進し、学校保健データ管理システムの整備と学校保健教育研究者の育成の行政・教育システムを構築する事業である。
国立大学法人 琉球大学	アジア太平洋島嶼のポストコロナの健康・安全な学校に関する研究【フィリピン・インドネシア・ミクロネシア連邦・マーシャル諸島・パラオ・フィージー・パプアニューギニア及びグアム（アメリカ）・日本（特に沖縄）】	沖縄・グアム・フィリピン・インドネシアの保健・教育・経済の分野での新型コロナ感染症の影響と対策における知見をまとめ、それを基に太平洋島嶼国の専門家との討議によって、島嶼地域のポストコロナの健康な社会・学校づくりに対して提言を行う。特に日本型学校保健としての保健管理・教育等の包括的な学校保健の実施と学校外組織・地域との連携に注目し、学校閉鎖時のICT活用とその副作用についての対応について分析を行う。